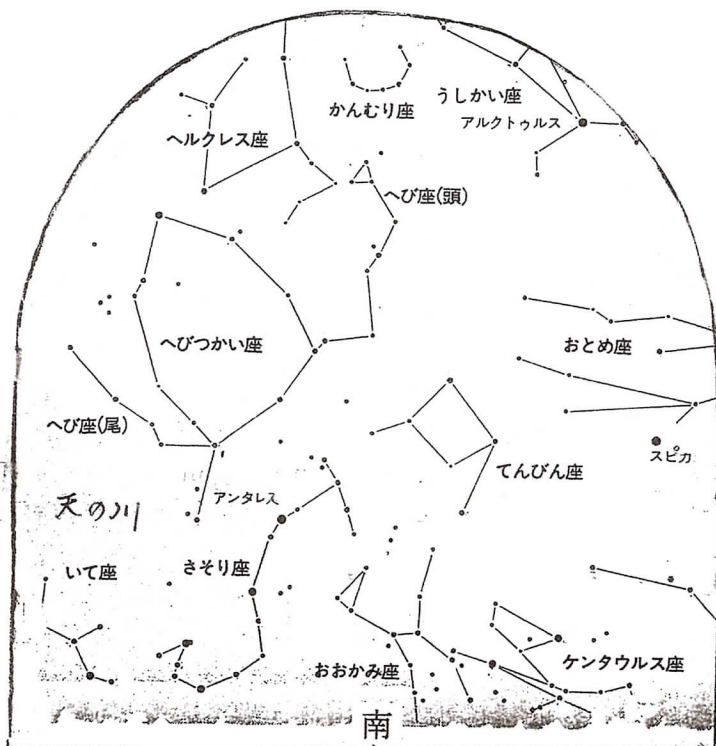


☆ 7月の太陽・月の時刻表と月齢

※下の表は黒石市役所での日の出・日の入・月の出の時刻と、午後9時の月齢と形を表したものです。(30秒未満は切り捨て、30秒以上は繰り上げ)

日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形
1	4:09	19:14	17:08	13.3	11	4:15	19:11	23:51	23.3	21	4:23	19:05	7:17	3.7
2	4:09	19:14	18:22	14.3	12	4:16	19:11	--:--	24.3	22	4:24	19:04	8:18	4.7
3	4:10	19:14	19:29	15.3 満月○	13	4:16	19:10	0:20	25.3	23	4:24	19:03	9:18	5.7
4	4:10	19:13	20:25	16.3	14	4:17	19:10	0:52	26.3	24	4:25	19:03	10:19	6.7
5	4:11	19:13	21:10	17.3	15	4:18	19:09	1:32	27.3	25	4:26	19:02	11:21	7.7
6	4:12	19:13	21:45	18.3	16	4:19	19:08	2:18	28.3	26	4:27	19:01	12:25	8.7 上弦①
7	4:12	19:13	22:14	19.3	17	4:19	19:08	3:12	29.3	27	4:28	19:00	13:34	9.7
8	4:13	19:12	22:40	20.3	18	4:20	19:07	4:11	0.7 新月●	28	4:29	18:59	14:46	10.7
9	4:13	19:12	23:03	21.3	19	4:21	19:07	5:13	1.7	29	4:30	18:58	15:59	11.7
10	4:14	19:12	23:27	22.3 下弦②	20	4:22	19:06	6:16	2.7	30	4:31	18:57	17:09	12.7
月の図は白い部分が光っているところ、黒い部分が欠けているところを表しています										31	4:32	18:56	18:10	13.7

月も地球も動いている関係で、月が出る間隔は平均して約24時間(1日)と51分くらいです。よって、前日の深夜かなり遅く出れば、その日は出なくて、次の日の深夜かなり早い時刻に出ることになります。



南の星空

今、南の空で一番目立つのはさそり座です。星の並び方が星座の名前のもとになっている動物のサソリにそっくりで、大変わかりやすい星座です。

そのさそり座をつくる星々の中に、サソリの心臓にあたる部分で、特に赤味がかって光っているアンタレスという1等星があります。名前の意味は「赤味が火星に負けないほどだ」ということです。

さそり座の左上には、大きなへびつかい座があり、そのへびつかい座の両わきに、蛇使いによってつかまれ、めずらしくも一つの星座が二つに分かれているへび座があります。

北の星空

これまでの長い間、夜、遅くなってからでないで見られなかったカシオペア座が、夕食後に地面の近くにあらわれるようになりました。

よく、「W形をしているカシオペア座」と言いますが、その逆さのM形に見えることが多いので、W形のカシオペアを見るには今ごろがちょうどいいです。カシオペア座のすぐ近くには東の星空で紹介した天の川も見られます。

